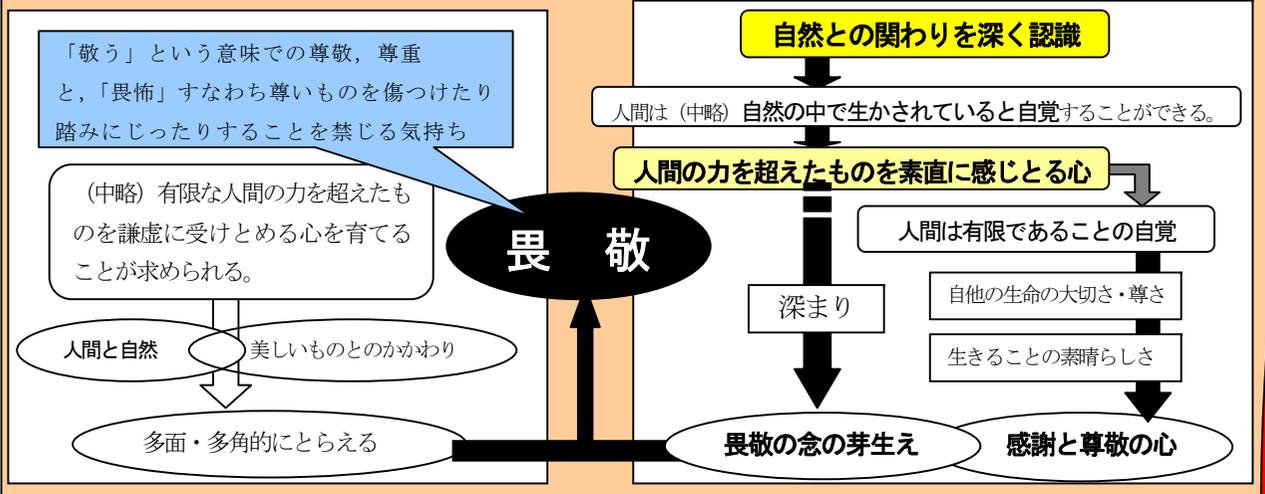


3 主として自然や崇高なもののかかわりに関すること

(1) 自然を愛護し、美しいものに感動する豊かな心を持ち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める



(3) 人間に弱さや醜さを克服する強さや気高さがあることを信じて、人間として生きること喜びを見いだすように努める。

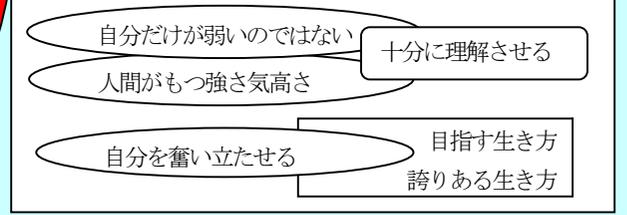
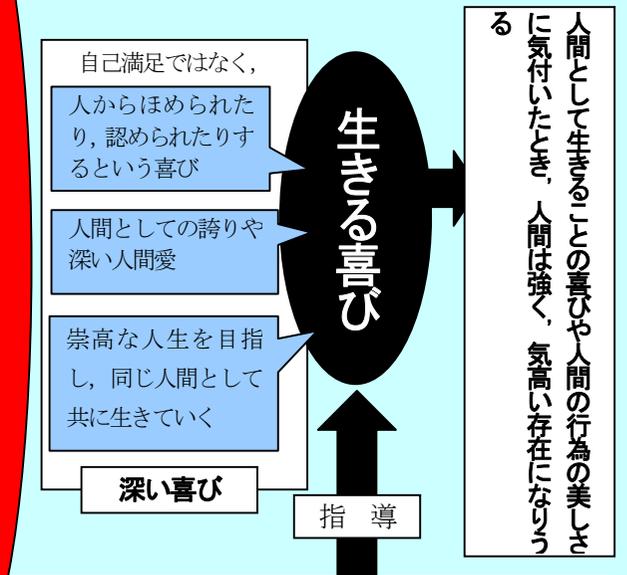
ありのままの人間は、決して完全なものではない

弱さはもっているが、それを乗り越え次に向かっていくところに素晴らしさがある。



自分の存在を深く意識するようになる

人間としての生き方の自覚



(2) 生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。

